

議案第1号

湯沢高原 ロープウェイ施設等 貸借契約の 締結について

反対討論

南 雲 正

この契約の承認による5年間に7億円、10年間で11億円を超える施設整備改修費等の町負担は、今後の町の行財政運営に支障をきたすことは明白である。事業者側の今後の改修整備計画に対して、町側がそれに対処する情報と専門知識が乏しく計画のチェック体制機能がないこと、今後の財政負担が町の行財政運営に支障をきたし、住民の生活環境整備に影響が出ること、財政状況が悪化し契約の履行ができなくなることを懸念し、1年間かけて慎重な議論を重ね町民に説明できる体制を整え結論を出す必要があることから、この貸借契約の締結に反対する。

平成24年度

一般会計予算に 対する

修正動議

提出者 南 雲 正

提出理由

スキー客が最盛期の3分の1まで減少し、今シーズンは福島原発事故の影響でスキー客の足が湯沢に向いているということであったが2月のスキー客は前年比87・6%と落ち込み、今シーズンも明るい兆しが見えず、湯沢高原への誘客も益々厳しさを増している。全国のスキー場が新たな投資を見送るなか、新たなリフト改修事業に多額の投資を行うことの危険性と今後の財政負担について慎重な議論が必要なことから、平成24年度一般会計予算から湯沢高原リフト改修事業費の平成25年度から平成33年度までの債務負担行為4億5000万円を削り、平成24年度計上分5000万円を減額する修正動議である。

南雲議員提出の

修正動議に 対する

賛成討論

高 橋 綾 夫

私は予算審査特別委員長として、委員会での採択を尊重すべき立場にあると思いますが、採決に加わっていなかった事と町民の付託を得た一議員として本修正案がより町民の意志を反映しているとの判断から、本修正案に賛成いたします。